

〈事例紹介〉

Y様 50歳 男性 アルコール依存症、外傷性てんかん、高次脳機能障害を既往歴に持っておられる方です。

工事現場で転落し、高次脳機能障害、症候性てんかんを発症し、右腕が不自由になりました。21.33.35で結婚しているが飲酒による家庭内暴力で離婚されています。その後、飲酒と断酒を繰り返されていて路上でてんかんにより倒れていることもあり福祉サービスに関わることになりました。

2023年6月よりヒヤシンスにて担当されており、訪問看護や訪問介護のサービスが入っています。

また、自分がお金を管理しているとお酒を買ってしまうからと成年後見制度も使用されています。

Y様は飲酒から暴力的になり目が覚めてから自分の行いに対して自責され抑うつ状態になることも見られるようです。

〈目的〉

精神は栄養からという研修を私が受けたことと、本人が痩せたいという思いから何を食べればいいのか。といった発言もあり、栄養面をフォローすることで、体重だけでなく精神面にも良い影響があればと思い本人に提案して承諾いただきました。

〈方法〉

高タンパク低糖質の食材購入の促し、胃酸分泌の為に食事への向き合い方の説明、実際の調理メニューの提案

〈経過〉

体重についての変移

初期体重 7/24 8/16

77.7 75.8 76.6

生活について

サービス入る前に異臭により退去命令が出てホームレス状態だったようです。支援入ってからもお風呂場にゴミ袋を溜めておられ、室内に多少の異臭あり声かけするも『後で自分でやるから。』とお風呂場の確認もできず支援させてもらえてない状態でした。

8月に支援に入った際にお風呂場を見てほしいと発言があり、ゴミ袋がなくなっていました。匂いはありましたが、ゴミ袋を片付けることができていました。

〈まとめ〉

今回実施してみて、本人の希望する体重減少にはあまり効果は見られませんでした。食べるものや食べ方に関して本人やっていただきましたが、食べる量が多かったのでは無いかと思われる。また、調理など声かけはしても実際にヘルパーにやってもらうことを本人嫌がり自分でやる。後でやる。と本格的に実施できなかったことも要因として考えられます。ですが、本人の精神面としてゴミ袋を処理できたのは大きな出来事ではないかと思われます。以前にゴミを溜め込みすぎて退去命令が出たことから異臭はなんとかすべき事でありました。

短期的な事例であり、ヘルパーの声かけや何らかの出来事から変化した可能性もあり、栄養面から良くなったという根拠は出せませんでした。今後も引き続き行う事で変化を見ていきたいと思えます。